

果樹情報 第 1 号 (R7. 3. 7～R7. 3. 23)

県中農林事務所須賀川農業普及所・JA 夢みなみ(すかがわ岩瀬地区、あぶくま石川地区)

- 1 気象概要(アメダスデータ)
- 2月の平均気温は郡山で0.7℃と平年より0.8℃低く、石川で0.8℃と平年より0.7℃低くなりました。また、2月の降水量は郡山で 15.5mm(平年比 48%)、石川で 9.5mm(平年比 30%)でした。
- 2 予想される天候(東北地方1か月予報、仙台管区气象台、令和 7 年2月27 日発表)
- 仙台管区气象台が発表した1か月予報(3月1日～3月28日)では、今後の平均気温は平年並み～平年より高く推移すると見込まれます。
- 3 発芽予測(福島県農業総合センター果樹研究所(福島市飯坂町) 令和 7 年 3 月 3 日現在)
- 各樹種(品種)の昨年及び平年の発芽日、今後の気象経過予測による発芽予測日は表1のとおりです。なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいので、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があります。



	発芽日		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並	2℃高い	2℃低い
もも「あかつき」	3/25	3/24	3/28	3/25	4/1
日本なし「幸水」	3/31	4/1	4/5	3/31	4/9
りんご「ふじ」	3/28	3/27	3/29	3/25	4/2

注)発芽日の平年は 1991～2020 年の平均値。
予測方法:発育速度(DVR)モデルによる発育予測。

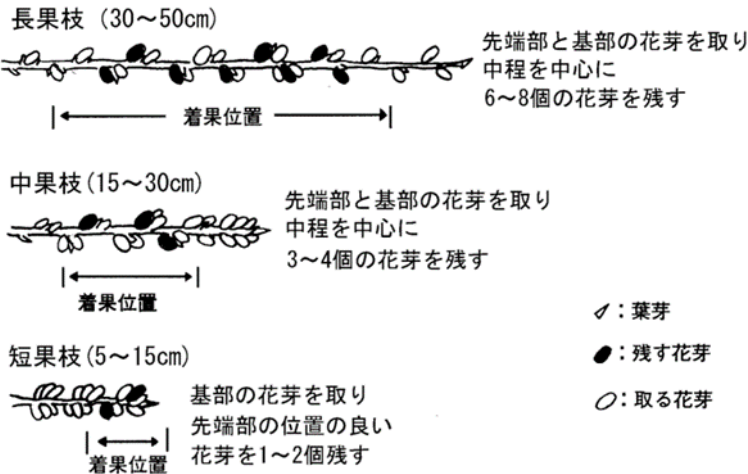
	昨年	平年
もも「あかつき」(須賀川市)	3/27	3/25
日本なし「幸水」(須賀川市)	3/31	4/2
日本なし「豊水」(須賀川市)	3/28	3/30
りんご「ふじ」(須賀川市)	3/29	3/30
りんご「ふじ」(鏡石町)	3/29	3/30
りんご「ふじ」(石川町)	3/31	3/31

注)平年は 1994～2023 年の平均値。

4 当面の栽培技術

(1)管理作業の計画的実施
せん定、せん定枝処理、誘引及び休眠期防除などがこの時期の管理作業の中心となりますが、発芽予測日と気象予報を考慮して、管理作業が遅れないよう注意しましょう。

(2)ももの摘らい(右図 参考)
摘らい作業の適期は3月上旬から発芽直前までです。作業が遅れ、発芽期以降になると摘らいの際に葉芽を痛めやすく、花らいが離脱しにくくなるため、作業能率が極端に低下します。摘らい作業は時間を要するので計画的に実施してください。



5 病虫害防除上の留意点

発芽前の防除は時期が遅れないように注意し、温暖無風の日を選んで確実に実施しましょう。
(1)もも
縮葉病に対しては、防除暦に従い、発芽前(りん片のゆるむ頃まで)に対象薬剤を十分量散布してください。コスカシバの発生が多い園では、縮葉病防除後に薬剤を樹幹部および主枝に散布してください。

(2)なし
昨年、黒星病が多発した園地では、発芽 10 日前までに防除暦の備考欄を参考に防除を行いましょう。また、黒星病の枝病斑は伝染源にはなりませんが、枝病斑がみられる枝は芽基部感染のおそれがありますので、枝病斑の有無を十分に確認しながらせん除を行いましょう。なお、黒斑病の越冬伝染源である枝病斑やボケ芽はせん除してください。
ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多い場合は、防除暦に従い、薬剤を散布してください。ただし、樹勢が低下した樹では、より樹勢を弱めてしまうことがあるため使用しないでください。

なお、昨年ニセナシサビダニが多発した園地では防除暦の備考欄を参考に発芽前防除を行いましょう。

(3)りんご
近年、腐らん病の発生が見られるため、防除暦の備考欄を参考に休眠期からの防除を徹底してください。発病部位は健全部を 5cm 以上含むように削り取るかせん除しましょう。
昨年、カイガラムシ類、リンゴハダニの発生が多く見られた園地では、防除暦に従い、発芽1週間前までに薬剤を散布しましょう。

3月中旬以降、落葉から黒星病の子のう胞子が飛散し、一次感染が始まります。落葉処理を行った園地においても原型を留めた落葉がないか、園地周辺部に落葉が溜まっていないかの2点を3月上旬のうちに再度確認してください。